

教科	農業	科目	畜産	単位数	2 単位	学年	1 年	コース	全
使用教科書	畜産(実教出版)			使用副教材等	ワークシート、視聴覚教材、実習記録簿				

目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、家畜の飼育と畜産経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	家畜の飼育と畜産経営について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	家畜の飼育と畜産経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	家畜の飼育と畜産経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 農業鑑定競技 小テスト 実習技能の習得 実習記録簿 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ワークシート 実習状況の観察 実習記録簿 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 実習・授業の様子 実習記録簿の内容 農業作文

担当者からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> 座学と実習とのつながりを意識して授業に取り組んでください。 実習では、特に時間厳守を意識し、服装や身だしなみを正しく整えて授業に臨むようにしてください。 また、自ら行動し(自主性)、仲間と協力して(協働)、最後まで集中して(責任感)取り組むようにしてください。 実習で学んだ内容は、実習記録簿に詳しく記入し、期限を守って提出することを心掛けてください。
-------------	---

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4	○オリエンテーション ・授業の進め方や実習に関する諸注意、評価の仕方などを理解する。	※(知)知識・技能、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度
		第1章 日本の畜産の特徴と役割 1 日本の畜産の特徴 2 日本における畜産物の需給の動向 3 畜産の役割 ・畜産を学習するにあたって、日本における畜産の現状と畜産物需給の動向について認識するとともに、畜産の役割について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> 日本における畜産の特徴を理解できているか。(知) 日本における畜産物需給の動向について理解できているか。(知) 畜産の役割について理解できているか。(知) 自分たちの生活と畜産の関係について考えることができているか。(思)
	5 6 7	第4章 家畜の飼育 1 養鶏 ①ニワトリの特性 ②鶏の品種と選び方 ③肉用鶏の飼育管理 ④ニワトリの実習・実験・観察 ・講義と授業内での実習、更に総合実習Ⅱにおける放課後実習を並行し、地元特用品種である「土佐はちきん地鶏」を題材にひな～出荷までの一貫飼育に取り組み、養鶏の実践について体験しながら学び理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ニワトリの特性について理解できているか。(知) 鶏の主要品種とその特徴について理解できているか。(知) 地元高知県の養鶏の現状について理解できているか。(知) 肉用鶏の飼育管理の概要について学び、得た知識を飼育実習に活かすことができているか。(知・思) 意欲を持って飼育実習に取り組み、責任を持って自らの役割を果たしているか。(思・態)
2	9 10 11 12	③施設・設備とその利用 ④繁殖の生理 ⑤種卵～ふ化 ⑥育すう ⑦産卵鶏の飼育管理 ⑧予防衛生と病気 ⑨養鶏の経営 ・産卵養鶏について、施設・設備から繁殖、飼養管理を含めた経営全般の理解を深めるとともに、課題点も含めて在るべき今後の養鶏の姿について考えてみる。	<ul style="list-style-type: none"> 産卵養鶏について、施設・設備から繁殖、飼養管理を含めた経営全般について理解することができているか。(知) 法定伝染病を中心に、主要な病気とその予防法について理解することができているか。(知) 高病原性鳥インフルエンザを例に、家畜伝染病と社会全体に与えるその影響について、考えることができているか。(知・思) 日本における養鶏経営の主な課題と、その解決策について考えることができ、今後在るべき養鶏の姿について考察を深めることができているか。(思・態)

3	<p>第2章 家畜の生理・生体と飼育環境</p> <p>1 家畜の生理・生態</p> <p>①家畜と家畜化</p> <p>②動物の恒温性維持と生理・生態</p> <p>○一年間のまとめ</p> <p>・家畜全般の歴史について理解を深めるとともに、一年間の学習を振り返り、次年度の学習へ向けての準備を整える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人間と家畜の関わりについて、理解できているか。(知) ・動物の生理・生態の基礎的知識を理解し、得た知識を実習における家畜の飼養管理に活かすことができているか。(知・思) ・基本的・基礎的な飼育技術の習得に向け意欲を持って実習に取り組めたか、また仲間と協力し作業を達成していく協働的姿勢が養えたか。(思・態)
---	---	--